



2019/7/12 第三号

FROTH FROTH FROTH FROTH

## 校長先生登場のテーマ曲 その3 —登場曲は凱旋曲—

「数年前の夏休み若い人と一緒の仕事」とは市教委の研修の企画運営である。

「夏の研修を思い切り変える」 そのコンセプトは「眠くならない研修会」。大成功であった。その評判は伝わり、次年度から他の教科の研修会も改善、変身し始めた。

その打合せ、準備、資料作り・・・もろもろに、全員、全力投球した。大成功は全員の達成感・充実感となった。

その中の一人が「テーマ曲」を作詞作曲した。そのテーマ曲は、その時のメンバー全員の凱旋歌と、私は密かに思っている。

《六浦小モデル19-23プラン》の策定過程も、似たような道筋を通ってきた。

策定の中心メンバーに「若手」を登用した。日常の学校運営は管理職の他、ベテラン教員が担っていく。これが一般的。

六浦小モデルのチーフは年齢的に少し若い教員に任せた。多分、初めての経験であったろう。よくわからないことも多々あったろう。苦勞・努力が求められたであろう。でも、作り上げた。他の教職員もよくサポートしてくれた。

その過程が、私には「テーマ曲」のメンバー経験と重なって見えてくるのである。

「テーマ曲」をここにアップしたのは、チーフはじめ六浦小の全教職員への「凱旋歌」の気持ちの表れ・・・そう受け取ってくれるとうれしい。

《六浦モデル19-23プラン》策定までに注ぎ込まれた《汗と涙》への凱旋歌。その曲が「校長先生登場のテーマ曲」である。

まあ、余りオフィシャルな題材ではなかったが、学校の雰囲気をもっとご理解いただければと書いてきました。三号までお読みいただき、ありがとうございました。